

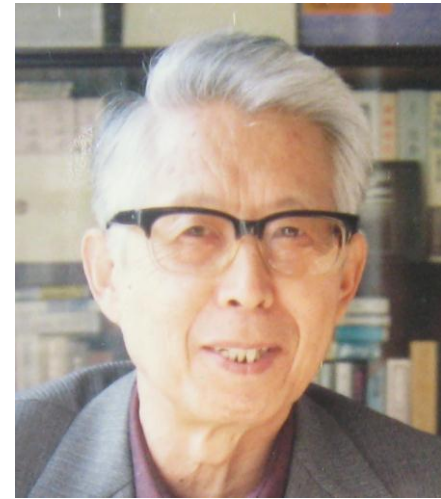
たけ やま ひろし
竹 山 広

* 大正 9年 2月29日

南田平村生まれ
(現平戸市田平町)

* 平成22年 3月30日

没(90歳)



○ 略歴

- 昭和16年 「心の花」に入会 肺結核発病
(21歳)
- 昭和20年 結核療養のため入院していた長崎市内の病院で被爆
(25歳)
- 昭和33年 「鶯」「短歌風光」を経て、「心の花」に復帰
(38歳)
- 昭和56年 第一歌集「とこしへの川」を刊行
(61歳)
- 昭和61年 第二歌集「葉桜の丘」を刊行
(66歳)
- 平成2年 第三歌集「残響」を刊行
(70歳)
- 平成7年 第四歌集「一脚の椅子」を刊行
(75歳)
- 平成13年 「竹山広全歌集」を刊行
(81歳)
- 平成20年 第九歌集「眠つてよいか」を刊行
(88歳)

○ 主な受賞歴

- 平成 8年 第4回ながらみ現代短歌賞 「一脚の椅子」
- 平成14年 第17回詩歌文学館賞(短歌部門) 「竹山広全歌集」
第13回斎藤茂吉短歌文学賞 「竹山広全歌集」
第36回迢空賞 「射禱」
- 平成21年 第32回現代短歌大賞 「眠つてよいか」

○ その他の代表作

千日千夜(平11)、遐年(平16) 空の空(平19)

とこしへの川 英文併記 百首抄(平20) 地の世(平22)